

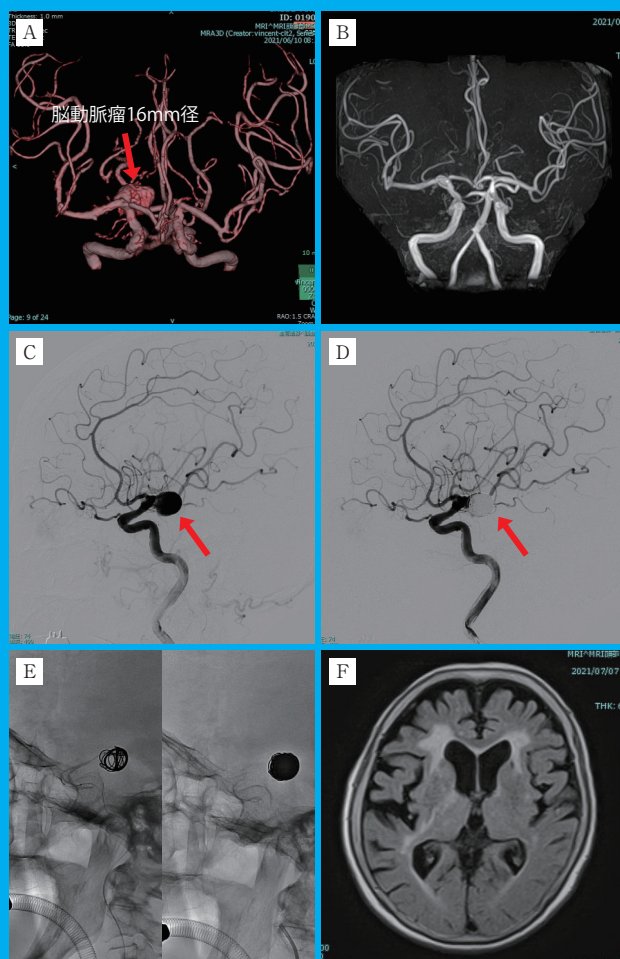
当院における脳神経外科診療は、我々の赴任した2011年夏以降、約10年間にわたり救急を含む通常診療を行いつつ、診療体制の充実に努めて参りました。現在、脳神経外科専門医、脳卒中専門医の両資格を持つ4名の医師を中心に、専門性の高い認定資格を取得したコメディカルを含む多職種が在籍し、強固なチーム医療体制を確立しております。脳血管障害、神経外傷などの救急疾患のみならず、患者様のADLの改善を目指す機能的脳神経外科にも注力しています。しかし、これまでは情報発信が不十分でもあり、皆さまに必ずしもお役に立てなかったこともあったのではと反省しております。

日頃より、院外の諸先生方のご支援・ご協力を賜り大変心強く存じます。今後ともよろしくご依頼申し上げます。

大分三愛メディカルセンター 脳卒中センター長  
中山 尚登

## 症例紹介

### 超高齢者に対する、くも膜下出血・大型脳動脈瘤に対する脳血管内治療(コイル塞栓術)



[Case : 90歳代女性]

自宅内で意識障害で倒れているところを同居家族に見えられた。当院に救急搬送され、頭部CTでくも膜下出血と最大径16mmを越える右内頸動脈末端部の動脈瘤を認めた。超高齢であるが、低侵襲の血管内治療でアプローチすれば、脳動脈瘤は根治的治療が可能であり早期離床もできると判断した。発症当日に全身麻酔下に脳血管内治療を行った。周術期に手技・麻酔に関する合併症はなかった。術後1カ月のMRAで脳動脈瘤は完全閉塞が得られていることを確認した。術後早期から、経口摂取やベッドサイドリハビリテーションを開始して1カ月程度で歩行が可能な状態となっていて今後自宅退院を目指している。

当院では超高齢者でも急性期に脳動脈瘤コイル塞栓術を積極的に行っている。開頭術より低侵襲な脳血管内治療は、超高齢化社会でこそ高い有用性を発揮すると考えている。

- |                                       |                                    |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <b>A</b> 術前MRA。                       | <b>B</b> 術後MRA。<br>脳動脈瘤は完全に消失している。 |
| <b>C</b> 術前 脳血管造影。                    | <b>D</b> 術後 脳血管造影。                 |
| <b>E</b> 左側:コイル入れ始め。<br>右側:コイルが充填された。 | <b>F</b> 術後MRI。<br>術後の合併症なし。       |

## 脳卒中センター(脳神経外科)医師のご紹介



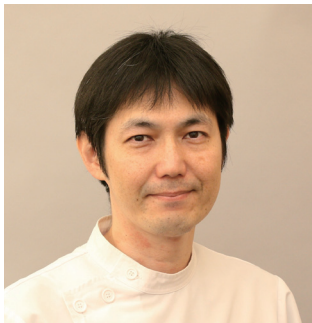
副院長  
脳卒中センター長  
**中山 尚登**  
Nakayama Hisato

[出身大学]  
山口大学  
[専門分野]  
脳卒中、脳血管内治療  
[認定資格]  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医  
日本脳神経血管内治療学会専門医



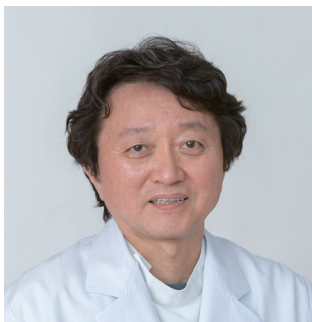
脳神経外科部長  
**上杉 政司**  
Uesugi Seiji

[出身大学]  
山口大学  
[専門分野]  
脳血管障害、脳腫瘍の外科  
[認定資格]  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医



脳神経外科医長  
**刈茅 崇**  
Karukaya Takashi

[出身大学]  
久留米大学  
[専門分野]  
神経機能外科、頭部外傷  
[認定資格]  
日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医



脳神経外科医長  
回復期リハ病棟担当  
**祁内 博行**  
Kenai Hiroyuki

[出身大学]  
山口大学  
[専門分野]  
脳卒中、脳神経外科  
[認定資格]  
日本脳神経外科学会指導医  
日本脳卒中学会専門医  
医学博士

## 脳卒中センター(脳神経外科)のご紹介

### 専門医の在籍

大分三愛メディカルセンター 脳卒中センター(脳神経外科)では、4名の脳卒中学会専門医が在籍しています。

### 治療方針

手術は開頭術などの直達手術に加え、低侵襲の脳血管内治療が可能であり、それぞれの利点やリスクを十分考慮して治療方針を決定。

手術症例はもとより保存的治療症例においても、急性期治療から回復期リハビリ、2次予防まで一貫して診療しています。

### 地域における役割

頭部外傷・脳卒中領域において他の医療機関との連携をより強め、24時間、365日地域医療に大きな役割を果たすことを目標としています。

当院は2019年9月より、日本脳卒中学会一次脳卒中センターとして認定されています。

## 主な対象疾患

### 脳血管障害

▶ くも膜下出血・脳出血、未破裂脳動脈瘤、虚血性病変

### 脳腫瘍

▶ 髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫

### 機能的神経疾患

▶ 難治性神経疼痛、痙縮、水頭症

### 頭部外傷

▶ 頭蓋内血腫、陥没骨折、脳挫傷、慢性硬膜下血腫

### ご紹介連絡先



大分三愛メディカルセンター  
地域連携センター TEL.097-542-7404

〒870-1151 大分県大分市大字市1213番地

TEL.097-541-1311(代表)

www.san-ai-group.org

! 緊急時など、まずは上記の連絡先までお問い合わせください。

